

1人1台端末の効果的な活用に向けた取組

越前市坂口小学校

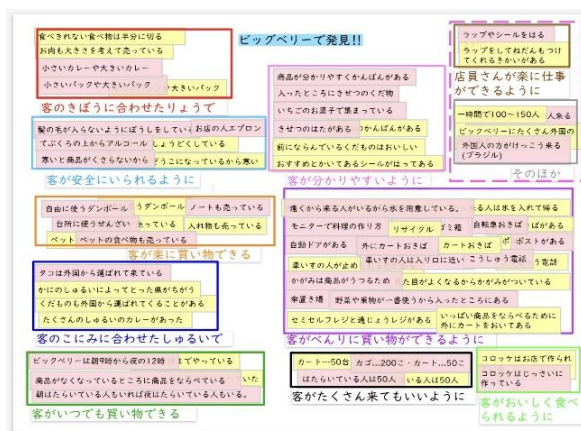
1 取組の概要

本校は研究主題を「小規模・少人数の良さを生かした教育活動の充実～ICT 機器を効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの充実を図る～」と設定し、各教員が、1人1台端末を効果的に活用した授業を、年間2回以上公開した。また、ICTの効果的な活用という点については、1人1台端末を「他の子の考えを知る」ことに活用し、さらにそれを自分の考えに活かすということを特に意識しながら授業を行った。

2 実践例

①3年社会「店ではたらく人」

本単元は、スーパーマーケットを見学し、その際に見つけたことをもとに、スーパーマーケットにおける、お客さんのための様々な取り組みを理解することを目的としている。そこで、スーパーマーケット見学で見つけてきたことをまとめるため、以下のようにiPadを活用した。



1. 見つけたことを各自の色の付箋に書き、クラスページのシートに張り付ける。
2. お互いの見つけてきたこと(付箋)を読み、同じ意見の付箋を重ねて貼る。
3. よく似た内容の付箋をグルーピングし、どのような視点で分けたかを考え、名前を付ける。

【成果と課題】

児童が見つけてきたことを、各自ですべて付箋に書き出してまとめに活用したため、児童の意見を一つも無駄にすることなく、学習に生かすことができた。また、児童は、友達が見つけてきたことをじっくりと読み、付箋を重ねたりグルーピングしたりする作業をすることで、自分が気づかなかった考えを友達の意見から知ることができたようである。ただし、3年生の学習ということで、児童がまだiPadの操作や文字入力に慣れていなかったため、各自の意見をすべて付箋に書き出すのにかなり時間が必要となった。この学習に対して、児童はとても意欲的に取り組み、充実した活動となったが、時間の確保やiPad操作の習熟という点は課題といえる。

②4年国語「ウナギのなぞを追って」

本単元は、自分が興味をもったことを中心に紹介文を書き、友達と読みあって、感想や自分の考えとの違いなどを見つけて伝え合うことを目的としている。そこで、それぞれの児童が書いた紹介文をお互いに読み合い、意見を伝え合

うため、紹介文のワークシートを児童同士が書き込めるように設定する。そして、各自が紹介文を完成させた後、それぞれが書いた紹介文を読む。その後、各自の色の付箋に感想や意見などを書き、紹介文の横に貼り付ける。

【成果と課題】

1人1台の iPad を活用することで、席を移動することなく、自分の手元ですべての児童の紹介文を読むことができた。そのため、落ち着いた状態で学習することができた。また、自分以外の友達の感想も確認することができるので、友達の意見や考えも知ることができる。ただし、本学級は児童数が5名であるため上記のような活動ができるが、児童数が多い場合は、すべて児童の紹介文を読み意見を貼ることは時間的にも難しい。そのため、班活動程度にする必要があると考える。



③5、6年家庭科「暖かく快適に過ごす住まい方」

本単元は、暖かく快適に過ごすための住まいの工夫について考える学習である。その際、雪の多い地域であるという特徴を活かし、家庭での暖かく快適に暮らす住まいの工夫を探し、写真を撮り、ワークシートにまとめた。その後の授業で、それぞれの家庭の工夫について紹介し、共有した。

【成果と課題】

1人1台の iPad を活用し、写真を使ってそれぞれの児童の家庭の工夫を紹介することで、分かりやすく情報の共有をすることができた。ただし、各児童の家の中の写真を撮影するという点から、個人情報観点から、十分な指導を行ってからの活動を行う必要がある。今回の活動の際には、撮影する際には、必ず家族の方の許可を得ることと、家族の方が写ってしまったり、住所等が分かるようなものが写ってしまったりすることがないように配慮して撮影するように事前指導を行った。

暖かく快適に過ごす住まい方

○家の中で、暖かく快適に過ごすための工夫を見つけよう。

写真	暖かく快適にくらすための工夫
	<p>家の中の二重窓</p> <p>暖かい空気を逃がさない</p>
	<p>外の二重窓</p> <p>暖かい空気を逃がさない、冷たい空気を入れない</p>
	<p>電気毛布</p> <p>温めるため：保温にも</p>
	<p>暖房</p> <p>部屋を温めるため 省エネ設備あり</p> <p>二重窓は、寒い地域ならではの工夫ですね。</p>

3 終わりに

昨年度からの1人1台端末の活用により、児童の iPad 操作能力は格段に上がっている。また、iPad を活用することで、児童の学習意欲は、より高まっているといえる。今後は、児童の iPad 操作能力の向上と学習意欲の高まりをもとに、より効果的に iPad を活用し、児童がこれからの未来を自分自身で切り開いていける力を身に付けられるよう、ICT 機器を効果的に活用したよりよい学習活動を目指していきたい。